

# DOYOU

## さいたま

同友会の三つの目的 / 良い会社 良い経営者 良い経営環境をめざす



2019年が幕を明けました。昨年は女性経営者全国交流会を埼玉の地で盛大に開催することができました。このような中で、各方面からの埼玉中小企業家同友会への期待も、さらに高まってきています。中小企業振興基本条例策定への動きが活発化する市町村行政との連携の場も増えてきました。「中小企業は地域のインフラ」ともいえます。同友会会員同士が学び合い、ビジョンと覚悟をもって、新しい時代をともにつくっていきましょう。

左から、藤元天美広報委員長、米山正樹副代表理事、小山秀朗副代表理事、太田久年代表理事、上田清司県知事、久賀きよ江代表理事、高橋尚樹副代表理事、高橋正哲副代表理事、吉田雄亮副代表理事

2019-1 January  
VOL.491 毎月1日発行

特集

2019年 新春知事対談  
埼玉から新しい時代を切り拓こう

<http://www.saitama.doyu.jp>

社長の<sup>®</sup>  
学校

# 2019年 新春知事対談 埼玉から新しい時代を切り拓こう

地域の雇用創出や女性の活動躍進においての中小企業の果たす役割について、埼玉同友会への期待を寄せる上田知事。今後の人材採用に関する施策や、東京オリンピック・パラリンピックへ向けての取り組みに等についてお聞きしました。

◇新年を迎えてのご挨拶をお願いいたします。

明けましておめでとうございます。

いよいよ今年はラグビーワールドカップが開催されます。会場の熊谷ラグビー場は、世界最高峰の戦いにふさわしいスタジアムに生まれ変わりました。東京2020オリンピック・パラリンピックの準備も進んでいます。県民の皆さんと成功に向け取り組んでいきたいと思っております。

さて、今年が平成最後となる節目の年です。

平成が幕を開けた1989年は東西冷戦の終結など大転換期にありました。イデオロギー対立は終わったものの局地紛争が拡散しています。

また、日本では1995年をピークに生産年齢人口が減少し続け、産業構造の変化などによる大都市への人口集中とともに地方を疲弊させています。

こうした中、誰もが幸せを感じられる社会を築くには、人口構造の変化に対応した社会の枠組みづくりや格差是正、スマート社会を実現するイノベーションが重要です。

本県ではこうした課題の本質を捉え施策を展開してきました。貧困の連鎖を断つ生活保護世帯の子供への学習支援は、法律に基づく制度につながりました。国民健康保険のデータを活用して糖尿病の重症化を予防する取組は、先進事例とし



上田清司 埼玉県知事

て国が紹介しています。

そして今、第4次産業革命ともいわれる変革期を迎えています。

「稼ぐ力」の向上につながる活用方法を検討してきた鶴ヶ島市内の県農業大学校跡地には、民間航空機エンジン事業の拠点が整備されます。これを機に先端産業・次世代産業のより一層の集積を図る予定です。今後も航空・宇宙分野などの先端産業の創造や、AIなど先進技術の普及を進め、県経済を一層強化してまいります。

今、人生100年時代といわれる中で新たな課題が出てきています。これまでも全国に先駆けて、運動や食事の改善による「健康長寿埼玉プロジェクト」や就労などを支援する「シニア革命」に取り組んできました。今後は経験豊かなシニアに、更に深く埼玉に関わってもらおう仕掛けを考えていきたいと思っております。また、格差拡大にも対応しなければなりません。例えば、県内で展開されている「子ども食堂」などの取組を多角的に支えていきたいと考えています。

これからも物事の本質を捉え、新たな時代を切り開く施策を埼玉から発信していきます。

◇2018年6月21日～22日に開催された「女性経営者全国交流会」では、埼玉県を挙げての支援を頂きありがとうございました。お蔭様で890名の方が参加され盛大に開催できました。行政の方々にも多くのご参加を頂いたことは、会員も大きく勇気づけられました。大会の印象はいか



がでしたか。

「第21回女性経営者全国交流会in彩の国埼玉」が、大盛況のうちに終わられたこと、誠におめでとうございます。

久賀きよ江代表理事、太田久年代表理事、北川登美代実行委員長をはじめ、この大会の開催に尽力された関係者の皆様に深く敬意を表します。

交流会には、全国から過去最多となる890名が参加され、各分科会では活発な意見交換が行われたと伺っています。また、久賀代表の記念講演も好評で、参加した誰もが経営者としての認識や姿勢を改めて考えさせられた様子であったと伺っています。

私は懇親会に出席させていただきましたが、会場にいた皆さんの熱気に圧倒されました。そして、世の中を変えるのは女性のパワーであることを再認識しました。

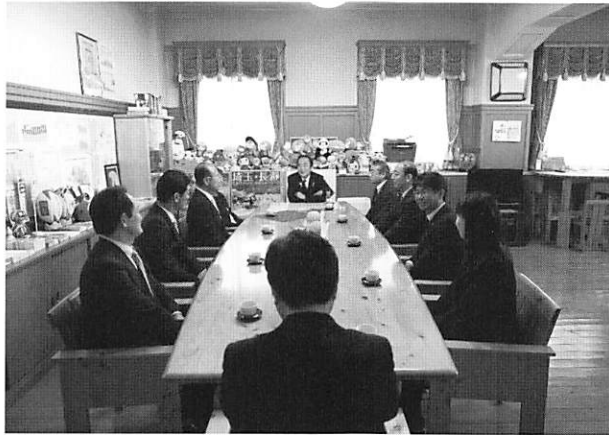
御案内のとおり、我が国の人口構造は大転換の最中です。人口が初めて1億人を超えた1967年の高齢者割合は7%でしたが、1億人を切る2053年には40%と見込まれています。このインパクトは社会の在り方を変えるほど大きく、正に時代の先を見て、今から手を打っていくことが必要です。

こうした状況の中で企業の舵取りをする経営者にとって、人の縁は貴重な財産です。今回の交流会で全国各地から埼玉に集まった皆様が結んだ縁が、これからの時代のニーズを先取りした新たなビジネスの種となり、それぞれの企業、更には各地域の成長につながることを期待しています。

◇2020年に予定されている東京オリンピック・パラリンピックの開催は、埼玉での競技の開催を含め国内外の観光客の更なる増加を図る絶好の機会になるかと思いますが、県の地域経済の発展に繋がる施策についてお聞かせください。

観光は、旅行業、宿泊業、飲食業等の幅広い産業が関連する裾野の広い総合産業であり、国内外からの観光客の増加は地域経済の活性化や雇用機会の増大につながるものです。

加えて、観光客を通じて地域の魅力を再確認することで県民の愛県心の醸成にもつながります。



このため、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を好機と捉え、観光客の更なる増加を図っていきます。

県では2017年度から2021年度までを計画期間とする「第2期埼玉県観光づくり基本計画」の中で4つの主要施策を策定し、県全体で多様な取組を展開しています。

1つ目はインバウンド対応です。外国人観光客を誘致する効果的なプロモーションを展開していくとともに受入体制を整備しています。具体的には、埼玉国際観光コンシェルジュをタイと台湾に設置し、コンシェルジュによる教育旅行及び観光客の誘致を図っています。また、台湾、タイ、香港を重点地域とし、現地の旅行博で本県の魅力をPRするほか、現地旅行会社への旅行商品の企画・販売の働き掛けなども行っています。

2つ目は既存資源の徹底的な活用です。食や酒、自然、産業など本県の多彩な観光資源を活用して個性豊かな観光地を形成しています。さらに、官民が連携しておもてなし力を向上させることでリピーター層の拡大を図っています。

3つ目はアニメの聖地化促進です。本県にはアニメやマンガの舞台地が多数存在することから、外国人観光客も含めたアニメファンを誘致するとともに、「埼玉県=アニメの聖地」というイメージの定着を図っています。具体的には、アニ玉祭などのアニメ・マンガイベントを全県で展開するとともに、県内ゆかりのアニメやマンガについて情報発信し交流できる拠点を設置しています。

4つ目はSAITAMAブランドの確立です。埼玉ならではの物産や土産品を発掘・開発してブランド化を推進するとともに、県産品の販路を拡大します。

こうした取組を効果的に実施するため、(一社)埼玉県物産観光協会と連携し、市町村の垣根を越えた広域観光施策を展開することで観光客を誘致していきます。なお、物産観光協会は観光で地域の「稼ぐ力」を引き出し、観光地経営の舵取り役を担う日本版DMO候補法人です。

県では様々な取組を通じて観光客の県内の滞在時間を延ばし、消費額を増大させることにより観光及び観光関連産業の活性化を図り、県の地域経済の発展に寄与していきます。

◇いよいよ人口減少による労働力不足が顕著になる中、埼玉県でもまもなく人口が減少に転ずると見込まれています。ここ数年、大企業の採用増等により会員企業から採用難の声が多く聞かれるようになっております。このような中、中小企業の人材の採用や、その後の育成、働きやすい職場環境を整える施策等についてお聞かせいただけますか。

県内中小企業の人材確保は喫緊の課題と認識しています。本県では、地元企業の人材確保支援のため、ハローワーク浦和・就業支援サテライト及びウエスタ川越内に「企業人材サ



ポートデスク」を設置しています。専門の相談員を配置して、求人や人材に関するあらゆる相談に一元的に対応するほか、企業の魅力をコンパクトにまとめた「企業紹介シート」を作成して、人材採用の支援を行っています。

また、企業説明会及び面接会を随時開催するとともに、女性や男性、若者からミドル及びシニアまで様々な人と地元企業をつなぐ「レインボー面接会」を年4回開催し、企業の人事担当者が求職者に対して直接、人材募集に関する説明を行う機会を設けています。

さらに、新卒の大学生や既卒者を対象とした合同企業面接会を開催し、県内企業と若者とのマッチングの機会を提供しています。ハローワーク浦和・就業支援サテライトのヤングキャリアセンター埼玉（若者コーナー）では、就職相談から職業紹介までワンストップでサービスを提供することで利用促進を図るとともに、県内企業と若者のマッチングに努めています。

あわせて県内企業を就職先の選択肢としてもらうため、経営者などに大学1、2年生の授業で魅力を伝えていただいています。そのほか、現役学生から見た企業の魅力などを記載した「就活に役立つ『埼玉県企業ガイド』」を作成し、県内企業の魅力発信に取り組んでいます。

採用後の育成においては、埼玉中小企業家同友会をはじめとする経済団体にも御協力いただき、2016年度から県内中小企業合同入社式・合同研修会を実施し新入社員の職場定着に努めています。

大企業に比べ社員数が少ない中小企業は、研修等を自社で行うことが難しい企業も多く、新入社員が気軽に話せる同期や同世代の社員も少ないのが現状です。そうした状況にある中小企業の新入社員に、合同での入社式や研修会を通して会社や業種・職種の枠を超えて同世代と交流する機会を提供し、働く意欲の向上や社会人としての基礎的な能力の習得を図っています。

2018年度は、4月11日に合同入社式、5月～6月にかけて基礎研修、9月にフォローアップ研修、10月に修了式を実施しました。延べ約1,000名に御参加いただき、満足度は合同入社式で82%、合同研修会では各回とも95%以上の高い評価でした。今後も中小企業の人材育成に役立てていただけるよう、支援を続けていきたいと考えています。

また近年、勤労者や求職者はワーク・ライフ・バランスを重

視しています。働き方改革関連法も成立し、長時間労働の是正など働きやすい職場環境づくりに企業が取り組まない限り、人材の確保や定着が難しい状況となっています。

ワーク・ライフ・バランスの気運醸成のため、埼玉県公労使会議は今年度の7月から11月を「働き方改革推進期間」とし、期間中の第3水曜日は「県内一斉ノー残業デー」として一斉退社を呼び掛けました。

また、県では企業の取組を支援するため、企業の経営者や人事担当者向けのセミナーの開催や、企業への専門家派遣を実施しています。

このほか、機械・金属加工、建築などのものづくり分野においては技術力の向上も支援しています。県内にある6校1分校の高等技術専門校では求職者や学卒者の方を対象に職業訓練を実施し、県内中小企業等に人材を輩出しています。

また、県内中小企業の従業員を対象に工作機械操作、溶接、IT、介護などのスキルアップや資格取得に役立つ社員向けの多様な講習も実施しています。特に個々の企業が抱える課題に直接応えるオーダーメイド型や企業へ講師を派遣する講師派遣型の講習に力を入れていますので是非とも御利用いただきたいと思ひます。

◇埼玉中小企業家同友会は県内の中小企業にあてにされる会として活動してまいりたいと考えています。知事が埼玉同友会に期待される事をお聞かせ下さい。

埼玉中小企業家同友会の皆様には、地域の雇用創出となる共同求人活動や、女性の活躍推進に取り組まれるなど、本県の産業振興と雇用拡大に大きく貢献していただいております。大変心強く感じています。

人口減少・少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少はもはや避けようがありません。この大きな課題に立ち向かうためには、一人一人の県民や企業が持つ能力を伸ばすことにより、持続的な成長を実現していくことが不可欠です。

昨年、2005年から取り組んでいる企業誘致において、企業立地件数累計が1,000件を超えました。また、2017年度の事業所開業率は全国2位と、本県には引き続き勢いがあります。

県内企業の99%以上を占めている中小・小規模企業が持続的な発展を図るため、県は、経営革新に取り組む企業への支援を強化するとともに、成長分野への参入や、ICTを活用した生産性の向上を支援しています。さらに、創業支援、事業承継や人材確保への支援など、中小・小規模企業が時代の変化に前向きに取り組めるよう全力でサポートしていきたいと考えています。

埼玉中小企業家同友会におかれましては、今後も、中小企業経営者の頼れる存在である「社長の学校」として、時代の変化に合わせた活動を展開していただきますようお願いいたします。そして、会員の皆様が日頃の研さんを大いに生かして、より一層御活躍いただきますことを心から御期待申し上げます。



彩北地区会設立総会

加須・羽生地域に経営者の学びの場が誕生。  
自社を良くして、地域を良くする学びをしよう!



株式会社山岸製作所の山岸良一氏

平成30年11月26日、晴天にも恵まれ2年越しの想いがついに実現する日が訪れました。おそらく平成最後の新地区設立になるであろう「彩北地区会」が、ご来賓、ゲスト含め114名に見守られ、16名のメンバーと共に新たな船出を切りました。

第1部の設立総会では大橋良一加須市長から「加須に新しい地区会ができることは地元の発展に必要」、河田晃明羽

生市長からは「厳しい時代に自分の会社をどこに持っていかっていくことを考えた時、経営者同士が刺激しあう同友会のような団体があることは素晴らしい」という励ましの言葉をいただきました。また、代表理事である太田氏から「自主自立の精神で厳しい環境にある中小企業経営者に活力を与え地域を盛り上げてほしい」との激励をいただき、これを受けて初代会長に選出された折原氏から「本音で話せる地区会風土を作りたい。また来年の地区総会までに会員数を30名にしたい」との意気込みが語られました。

第2部の記念講演では、折原会長の強い要望により群馬中小企業家同友会代表理事である株式会社山岸製作所の山岸良一氏により「未来へ向かう会社づくりとは」というテーマで講演が行われました。会社概要で驚いたのが、中小企業にとって厳しい経営環境の中、2つの工場のほか従業員の教育だけを目的とした施設を持っているということでした。

父が創業した会社は人が集まらず、やめてもらっては困るので従業員に優しく接した結果どんどんわがままになっていき、結局は辞めてしまったそうです。会社を引き継いだ後はとにかく会社の規模を大きくすることだけを考え、がむしゃらに働きましたが会社が良くなる気配は一向になく、これではいけないと自分で勉強するようになりましたが勉強すればするほど社員が馬鹿に見え、社員を「機械を動かす人」という見方しかできなかったそうです。そんな中、身内とも揉めて社長についてくる人は誰もいなくなった時期に同友会に入会。先輩経営者の話を聞くうちに間違いに気づき、社長と従業員という立場ではなく、社員と同じ目線で向き合い続けた結果、教育施設を作るにまでに至り、いまではそのノウハウを事業化しようと考え


るまでになりました。レジュメには「教育」ではなく「共育」と書いてあり、共育は「忍耐、継続、信頼が大事。一長一短では成し遂げられない」との言葉が印象的でした。

第3部の懇親会では地区メンバーである早川氏、相馬氏が生産した農産物を同じく地区メンバーである卯都木氏が調理した「きくいもシュウマイ」が振るまわれ、盛会のうちに閉会となりました。参加いただいた皆様に感謝するとともに設立メンバーとして地域を盛り上げていきたいと強く思う一日となりました。

(彩北地区会 佐藤大輔 記)

## 彩北地区会長あいさつ

### 折原昌司



彩北地区会、初代地区会長の折原昌司です。  
同友会のなかった加須市・羽生市に、新地区「彩北地区会」が誕生しました。このたびの設立総会では、たくさんの同友会仲間が駆けつけてくださり、新地区会員一同大いに勇気づけられました。

ご承知の通り、同友会の目指す企業像は正しいものです。この素晴らしい道を、空白地域に広げてゆくことは大いに意義のあることです。ただ観念的にそう感じていた私が、実際に行動に移したことで、自分自身に変化がありました。変化は、「この道(同友会の活動と企業づくり)は間違いない」という強い自信と信念を得るに至ります。同友会活動は、まず自分自身に良い影響があり、次第に自社の社員さんや会社の成長として現れます。

発起人の3人と12人の新会員さんに感謝申し上げます。また、太田代表、高橋(正)副代表と埼玉地区会に御礼申し上げます。支えて下さりありがとうございました。また、新地区活動を応援する気持ちをゲストを連れてくるという形で表してくれた他地区の方々があります。会員が増えず苦しんでいたのも、私はこれを何より有難く感じたものです。

彩北地区会は、これからメンバーが増えていきます。私達は、仲間と切磋琢磨し合い、よい会社とよい地域をつくるという決意を新たにしました。関わってくれた皆様のおかげです。ありがとうございました。

## 第46回 青年経営者全国交流会 in 沖縄

ちむ

ばんこく しんりょう

ゆいんちゆ

肝高く、万国津梁を担う結人たれ!  
～まくとうそーけー、なんくるないさ～

2018年11月29日(木)～30日(金)

11月29日～30日、ロワジュールホテル那覇ほか4会場にて第46回青年経営者全国交流会が「肝高く、万国津梁を担う結人たれ!～まくとうそーけー、なんくるないさ～」をスローガンに行われ、47同友会および中同協から約1297名、内、埼玉同友会からは22名が参加しました。全14分科会の中から、2分科会の報告記事をご紹介します。



## 分科会

## 【第4分科会】

業績向上は社員と共に  
～雰囲気づくりと仕組みづくりが  
企業を成長させる～

報告者: 森弘国氏 (株)マスナガ 代表取締役



報告者である森氏は、父親の紹介で同友会へ入会。結果が出せない、周りが敵にしか見えない、社長である父親との衝突が続く。自分は何がやりたいのか? 何かを「守る」ためだけに事業承継するわけではないはず…その思いから同友会の学び直しを始めた。

- ①自分と向き合う→何のための仕事か、自分はどうしたいのか? その思いを経営指針書に落とし込むことで社員との共感、ぶれない自分を得る。
- ②社員と向き合う→仕組みを生むのも使うのも人。社員のことを知り、立場を理解し受け入れる。
- ③当たり前のことをする→日々の挨拶、社員に感謝し信頼する。
- ④認める→「ありがとう」の水を注ぐことで自己承認のコップを満たしてあげる。定期的な個人面談で心のメンテ・楽しい雰囲気・言葉がけを実践。結果主体性を持った社員が育つ。
- ⑤人に・自分に諦めない→社員から逃げない。自分から逃げない。学んだことを実践する。

このような取り組みの結果、社員が「お客様のお困りごと」にNoを言わない]マスナガラしさを基準に自主的に仕事に取り組んでいる。

## 学びから実践

経営理念を浸透ではなく共感してもらう。まずその土台となる人間関係を立て上げていく。

自分の人生を自分でつかみ取る過程が幸せ、だから社員の主体性を大切にする。

同友会で得た学び「人を生かす経営」を自社に置き換えて地道に実践する重要性を再確認しました。

(川口地区会 親富祖亮 記)

## 【第13分科会】

沖縄から見た「平和」の在り方  
—中小企業家として、  
どのようにして平和な世の中を  
創っていくか

報告者: 新城俊昭氏 (沖縄大学 客員教授)



私たちの「沖縄」に対するイメージは、温暖な気候、突き抜ける青空、透き通った海、珊瑚礁、独特の沖縄民謡など、「平和」なものではないでしょうか。

しかし、先の戦争の終結間際には、日米両軍・民間人合わせて20万人もの尊い命が失われた激戦地だったことを忘れてはなりません。

報告者の新城氏からは、琉球・沖縄の通史～沖縄戦～戦後アメリカ統治時代～現代までの歴史についての解説の後、「平和とは戦争のない状態をいうのではない。私たちの街から差別をなくし、弱い立場にある人びとを社会の一員として大切にすることではないか?」

「現代に生きる者は戦争に対する責任はないが、戦争に対して正しい歴史評価を下す責任があるのではないか?」

「戦争について学ぶ意義は、未来に対する責任を全うするためではないか?」

との問題提起がありました。

グループ討論では、全国各地の青年経営者とともに

「私たちは、沖縄戦および戦後沖縄の歩みから、中小企業家として何を学ぶべきでしょうか?」

「中小企業家として、どのようにして平和な世の中を創っていきますか?」

をテーマに、意見の交換を行いました。

この分科会では、常日頃から重要な経営判断に迫られる中小企業家として、まず「正確な事実に基づき正しい判断を下す」心構えがなくてはならない。そして、「本質を見抜く目」を磨き続ける必要があるということ学び合いました。

(浦和地区会 大森靖之 記)

# オープン学習会

今年も各委員会によるオープン学習会の開催報告を掲載します。

## 【青年部オープン学習会】

### 未来を見据え挑み続ける同友会型企业 ～青年経営者の悔し涙と本気の企業づくり～

報告者：中野愛一郎氏（㈱イベント21 代表取締役 奈良同友会）



それは、社員が輝く企業文化を作り上げた事なのかなと私は感じています。

中野氏は社員との面談や食事を常にに行い、社員の夢や目標などを引き出しています。仕事を「やらせる」のではなく、「共に進む」といったイメージでしょうか。ここが（㈱イベント21の社員さんの「もっとこうしたい！こうなりたい！」といった自主性に繋がるのでしょ

う。同友会で学んだことを即実践で自社に落とし込み、学びより実践での気付きを経験してきた「同友会型・行動派経営者」からの学びを、私たちは実践して気付きを得る。このバトンを繋げることで自社と同志が強靱な経営体質となっていき地域や日本を元気にする、はずです。

このように記事を書き、例会を振り返る事で人より深く腹に落とせたんじゃないかなと思います。同友会活動を通して常に新しい自分に出会う勇気を忘れずにいようと改めて思わせて頂いた事に感謝いたします。（西部地区会 星山忠俊 記）

突然承継者として現れた中野氏を古参社員たちは受け入れられず非協力的かつ挨拶も無視。そんな中がむしゃらに働き1年で5回の救急搬送に始まり、トップ営業マンの退職・未払残業代請求による社員からの恐喝・労働組合との団交・横領・労基からの呼び出し・右腕社員の裏切り等々。『起きたら嫌だな』を、ほぼほぼ味わいつつも着実に業績を伸ばした秘訣とは？

## 【広報委員会オープン学習会】

### ホントは教えたくない？ プロから学ぶ3つのテクニック ガンガン人が集まるホームページの魅せ方！

鈴木一朗氏（㈱スイッチ 代表取締役（東部地区会））  
斉藤寿和氏（㈱ディクタス 代表取締役（東彩地区会））  
金子弘行氏（㈱ディーアイケイ 代表取締役（北部地区会））

用』『認知度』『情報更新』3つの観点から、ホームページについて、今、私たちに必要なことをゼミ方式でご報告いただきました。がっつり学ぶ！この言葉どおり、経営者として考えなければならぬ情報活用について学ぶことができました。ホームページは企業の顔！広報委員会としても、同友会の情報活用についてどう進んでいくべきか、大きなヒントを得られた学習会となりました。と共に、今後も委員会として、会員の皆さんと共に情報共有できる機会をつくっていくことの重要性を実感しました。



（東彩地区会 藤元天美 記）

## 【女性経営者クラブ・ファミ オープン例会】

### 経営者仲間から学んだ私の生きる道 ～人を繋げる本当の強さはぶれない思い～

報告者：菊永良枝氏（㈱サウンドオフィスコー 代表取締役（むさし野地区会））

女性経営者クラブ・ファミの11月例会は、これまでにないスペシャルな演出から始まりました。報告者・菊永氏ご本人の生演奏を聴きながら、ファミメンバーの田口氏手作りの美味しいお菓子とコーヒーをいただく♪まさに女性ならではの楽しい発想です。



をひひしと感じるものでした。東日本大震災後の苦しい経営状況を乗り越えられたのも同友会があったから。同友会の学びを最大限に生かして、組織づくりを行ってきました。どんなことがあってもリーダーとしてスタッフを守り続けるという強い意志。組織づくりの第一歩は信じて任せること、組織は人の協力なしには成り立たない。というお話がとても印象的でした。

地区会長時代には女性が出席しやすい幹事会の運営や毎月の企業訪問など、女性会長ならではのアイデアで地区会を盛り上げ、また今年6月の「女性経営者全国交流会」では記念講演のリーダーを担当。ここで一人ひとりの力を信じて任せることで、チームの力を最大限に引き出しました。リーダーシップではなくフォロワーシップを強調される菊永氏から、リーダーとしてのぶれない思いの大切さを学びました。

（むさし野地区会 日高香苗 記）

## 各地区会で開催された例会をご紹介します。

## 【大宮南地区会10月例会】

## 企業成長の鍵はどこにあるのか？

～様々な困難を乗り越え、成長し続ける会員企業から学ぼう！～

報告者：増田恭章氏（CSリレーションズ ㈱ 代表取締役社長）



10月18日、大宮仲町の貸会議室にて、東部地区会員であるCSリレーションズ(株)代表取締役社長 増田恭章氏により、「三位一体経営～指針・採用・教育を10年継続してわかったこと」と題する報告が行われました。

携帯電話ショップ等を営み、現在8期連続で増収増益と絶好調の同社ですが、その道のりは順風満帆ではなかったといいます。

ターニングポイントとなったのは、同友会への入会、経営指針づくりセミナーの参加、経営指針の完成、新卒採用の開始でした。

増田氏は会社を樹にたとえ、大事なものは根(理念・ビジョン)と土壌(会社風土)だと言い、経営指針の重要性を強調します。

また、現在の企業力は採用力だと見据え、新卒採用に資源と熱意を投入します。

最初は上手くいかなくても、信念をもって諦めずに続ける増田氏の姿勢に参加者全員大いに刺激され、その後のグループ討論もとても盛り上がり、学びの多い例会となりました。(布施俊輔 記)

## 【むさし野地区会10月例会】

## 対等なコミュニケーションが会社を救う

～崩壊寸前の企業が同友会で学び実践して行き着いた先～

報告者：榎本重秋氏（ぜんち共済 ㈱ 代表取締役社長(神奈川同友会)）



報告者の榎本氏は、保険会社の営業だった平成16年頃、全国を回る中で障害者の為の保険にニーズがある事に気がきます。一年近く金融庁、財務局に通い詰め会社設立の準備をし、平成18年に全国で民間として初めて障害者の専門保険を扱うぜんち共済株式会社を設立。

しかしその経営は思うようにはいかず、社内の従業員の中にも世代間のすれから溝ができ対立が生じ、ご自身も精神的に追い込まれ体調を崩してしまいます。その後、先輩経営者から話を聞くことで会社に必要な要素を学び、会社を再建します。

平成23年に同友会に入会し、経営指針を作成し、活動する中で社長の意識改革や経営について様々なことを学びます。社員との対話を重視しながら、幹部育成にも力を注ぎ、経営者と社員との現状の確認ができるまでになりました。この頃マスコミにも取り上げられ、この事が社員のモチベーションの向上に繋がり社長とのコミュニケーションも良好になったそうです。今例会は他地区からの参加もあり10グループでの討論となり、改めて会社運営に必要な事や、「コミュニケーションが会社を救う」ことを学んだ例会となりました。(島野吉史 記)

## 【川越地区会10月例会】

## 自社の未来のために何を学ぶのか？

～経営指針の役割と、成果を伴う具体的行動～

報告者：太田久年氏（㈱ ホウウウ 代表取締役）



太田氏は21歳で設計コンサルタントの会社に就職後、24歳で先輩と二人で豊友土木を設立され、会社は順風満帆、売上げも社員も増えいけいけどんどの楽しい毎日であるが、労働環境、生活環境は悪化をたどりました。社長であった先輩は会社を辞め自分が借金も引き受けることになり、会社なんかやめたい。社長なんかやめたいと思っている時期に、同友会に入会し労使見解に出会います。太田氏の報告からは労使見解から学んだ事を自社なりのやり方に変えて会社の運営を行っておられました。だからこそ「同友会運動と会社経営は不離一体である」という言葉がでてくるのだと思いました。

グループ討論では他地区の方やゲストの方を含め大勢の参加があり、『社長の思い社内に浸透していますか。会社の発展に必要な事は何ですか。』のテーマのもと、それぞれの経験で白熱した討論が行われました。きっと太田氏も、この2つのテーマを自問自答し社員と日々向き合い経営を行っているのだと思いました。私たちもこの2つのテーマは日々自問自答したいものです。

私達中小企業の経営者は日々やる事が山積みで大切なことを忘れがちです。太田氏の報告から、そういえばそう思っていた時期もあり、忘れていた事を思い起こさせる内容でした。簡単な事でも会社に根付かせるには何年も何年も掛かる根気の入る事だと思います。この簡単な事が会社では一番大切かもしれません。継続は力なり。太田氏の明るさと情熱を感じた例会で、経営者としての流れは自分と重なるところが数多くあり力をもらいました。これからも頑張っていきます。(影山晴男 記)

私達中小企業の経営者は日々やる事が山積みで大切なことを忘れがちです。太田氏の報告から、そういえばそう思っていた時期もあり、忘れていた事を思い起こさせる内容でした。簡単な事でも会社に根付かせるには何年も何年も掛かる根気の入る事だと思います。この簡単な事が会社では一番大切かもしれません。継続は力なり。太田氏の明るさと情熱を感じた例会で、経営者としての流れは自分と重なるところが数多くあり力をもらいました。これからも頑張っていきます。(影山晴男 記)



## 埼玉中小企業家同友会 2018年度 第3回理事会議事録

《2018年度スローガン》高い志を持って、企業づくり、地域づくり、同友会づくりへ挑もう

◆日時:2018年10月25日(木)18:30～20:30

◆会場:新都心ビジネス交流プラザ4F

◆司会・議長:米山副代表理事

◆議事録署名者:小林副代表理事

◆議事録作成者:清水事務局長

## ・久賀代表理事挨拶

情勢として建築関係では仕事はあるものの利益的にはそれ程貢献しないものが多いと聞いています。オリンピック需要等もあり原価も徐々に上がってきています。そんな中、現状業績が堅調な会社も努めて情報収集をし、将来を見据えて経営していかないとはいけません。

## I. 議事(審議事項・協議事項・報告承認事項・連絡事項)

## 報告事項

1. 彩北地区会 正式名称の承認及び設立総会について  
(報告者:太田代表理事、折原理事)

9月10日に理事会メールにて正式名称(彩北地区会)、設立総会(11月26日)の日程等の承認はされている。現状12名の会員だが設立総会までに上積みを図り、総会は盛大に開催する。埼玉地区会の力を借りて準備する。是非、設立総会に多数参集して応援して頂きたい。

①設立総会開催日時:2018年11月26日(月)15時～、  
開催場所:市民プラザかぞ

②記念講演:山岸良一氏(株)山崎製作所 代表取締役 群馬同友会代表理事

## 2. 役員研修会報告(報告者:吉田副代表理事)

9月21日に愛知同友会高瀬副代表理事(株)高瀬金型 代表取締役)に同友会運動を自主的に実践した報告をして頂いた。起業した時は数名の会社を今では100名以上の会社にし、かつ年商も12億を越える売上を上げている。また地区会長時代には28名の地区会員が64名に迄なったとの報告だった。当日はグループ討論も活発に行われ終了した。(検討事項:次年度から役員研修の名称を地区の幹事も参加し易い様に変更)

## 3. 政策問題プロジェクト報告

(報告者:久賀代表理事、米山副代表理事、三角理事)

2019年度埼玉県に対する政策要望を今年も実施したが年々、内容が具体的になっており埼玉県の対応も真摯なものになって来ている。過去数年要望してきた中のひとつに県の中小企業に対する一貫とした部署の新設があるが産業部長より今年度は検討したいとの返事を頂いた。全体的には県よりは卒の無い回答だったが確実に県との関わりは増えてきている。

## 4. 専門委員会推進月間(オープン学習会)

(報告者:吉田副代表理事)

2018年度のオープン学習会は8委員会すべてが開催する事になっている。趣旨としては会員にとっての学びの場は各地

区会だけではなく県の委員会にもあるという事を周知するためである。各委員会はあくまでも埼玉同友会の会員の学び場としての役目を意識して開催していく。

## 5. 全県経営研究集会について(報告者:小林副代表理事)

各地区会に現在キャラバンを実施中。開催月が例年より遅くなったとはいえ、現状参加登録が全体で49%とあまり進んでいない。11月の幹事会、例会でさらなる周知をして目標450名達成を目指す。

## 6. 2019年県定時総会記念講演候補者提案のお願い

①日時:2019年4月予定

開催場所:新都心ビジネス交流プラザ

②候補者応募メ切:12月3日(月)

③最終候補者は12月14日(金)理事会にて決定し、事務局より依頼する。

## 7. 役員選考委員会発足について

①11月地区会長会議、委員長会議にて各推薦依頼を実施

②12月上旬、2月上旬に役員選考会議を開催。

③2月15日に役員内定者リストを正副代表理事に報告予定。

## 8. 議案作成プロジェクト発足について

①正副代表理事他11名で構成。12月～1月で3回開催予定

## 9. 半期財務報告、西日本豪雨災害支援金報告

①2018年度8月までの収支実績はほぼ予算通りで推移、現状問題はなし。

②支援金は9月2日迄で656,956円、中同協に全額送金した。

## 10. 事務局より(領収書の取り扱い、事務局員の業務時間は21時迄、例会後の懇親会参加)

①事務局より年末年始に当たり、飲食費の領収書の発行はご遠慮願う。

②事務局員の業務時間は21時迄、以降の時間は残業出来ず。

③例会後の懇親会参加は連日の可能性がある為、控える。

## 11. その他

入会基準、会員資格について意見があった。

## II. グループ討論(19:30～20:30)

●グループ討論テーマ:地区会年次目標に向けての進捗状況と課題

各地区会の2018年度方針を元に半期を終えての方針の進捗状況、現況のグループ討論を実施した。討論後に2グループの発表があった。最後に小林副代表理事より本日の討論内容等を次月の幹事会等で確認していただきたいとのまとめの報告があった。

# 企業訪問記

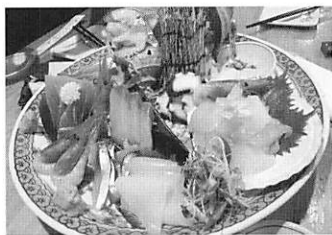
割烹 赤坂 赤坂美絵氏 (川口地区会)



割烹赤坂は、1984年に赤坂さんのお父様が川口地区会に入会されました。会員変更で赤坂さんが入会されたのは2015年ですが、企業としては実に会歴35年目となります。少人数から50名まで利用できる個室も完備し、こだわりの活魚と一品料理を提供する割烹赤坂。勤続15年と30年の板前さん2人がしっ

かりと赤坂の味を守っています。割烹赤坂を利用するのはほとんど常連のお客様です。常連のお客様が接待や団体の会合で使い、その宴席に来ていた方がまた利用してくれる。そんなふうにしてお客さまを繋げ増やしています。新鮮でおいしいお料理はもちろんのこと、赤坂さんのお客様を大事に思う気持ちと、快適に過ごしてもらうためのきめ細やかな気配りが、お客様に「また赤坂を利用したい」という気持ちにさせるのでしょう。

赤坂さんはその若々しい容姿からは想像できません



が、成人された娘さんと、高校生の息子さんがいらっやいます。赤坂さんは、三姉妹の長女で、ご両親は最初からお店を継がせると決めていたそうで、そのことに反発する気持ちもあつたとのこと。なので、お子さんが自分から継ぐと言わない限りは継いでほしいと言うつもりは今のところはないと言います。地元で愛される老舗割烹が二代で終わってしまうのはもったいない。ぜひ次代に繋いでいってほしいものです。みなさま、南浦和にお越しの際はぜひ、お店に足を運んで「割烹赤坂の味」をご堪能ください。(事務局 高頭美由紀 記)

## 会社概要

- 所在地: 埼玉県さいたま市南区南浦和2-27-9 赤坂ビル
- 資本金: 300万円 ■ 従業員数: 4名(うちパート1名)
- 事業概要: 飲食業

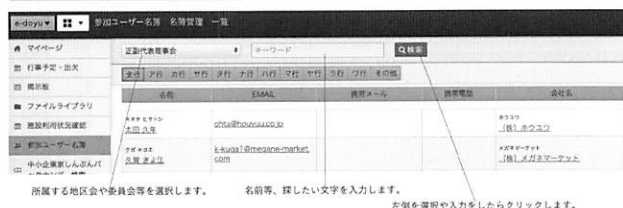
## e.doyuの使い方4

### [参加ユーザー名簿とは]

同友会の会員さんについて、ちょっと調べたいときありませんか? 「名刺が見つからない」とか「地区会を知りたい」とか。そんなときに役立つのが「参加ユーザー名簿」です。ボタン名だと何かの行事等への参加者のようですが「埼玉同友会会員名簿」と捉えておきましょう。

- ① 画面左側に並ぶメニューより「参加ユーザー名簿」をクリック。
- ② [全てのグループ]と表示されているボタンをクリック。
- ③ 該当者が所属する、委員会または地区会を選択。(わからなければ、選択しなくて大丈夫です。)
- ④ 該当の委員会または地区会のメンバーリストが表示され

### 参加ユーザー名簿



ます。

- ・入会暦の浅い人が上部に表示されるらしく順序は不明ですが、基本、五十音順のようです。
- ・残念ながらソート(並び替え)はできません。
- ・名前・会社名をクリックすると、Emailアドレス、携帯電話番号、所属している地区会・委員会等同友会に関する情報、及び、会社名、電話番号、事業内容等の会社情報が表示されます。
- ・メールアドレスをクリックすると、宛先にアドレスが入力された状態でメールソフトが起動します。

「ア行」「カ行」「サ行」…ボタンはそれぞれの行から始まる名前に分類して、探すことができます。「キーワード」欄に直接名前や社名を入力し、「検索」ボタンをクリックすれば、入力した文字に絞られてリスト表示されます。名前の漢字がわからない場合はカタカナで入力するといいでしよう。

キーワードは選択したグループの中から検索されます。該当者が所属するグループがわからない場合は、[全てのグループ]のまま、キーワードに探したい名前を入力し、「検索」ボタンをクリックします。

グループを選択し、キーワードには何も入力せずに「検索」ボタンをクリックすれば、該当の地区会や委員会に所属しているのは誰かを知ることができます。

(中部地区会 広報委員 矢澤敦臣)

新たな辞書の1ページ 新入会員紹介 (11/1~12/1)



坪井 誠一  
竹乃森診療所  
彩北地区会  
診療所、巡回健診



門野 由林  
由林サロン  
戸田・蕨地区会  
化粧品販売、サロン経営



坂本 裕  
モノリスストーリー  
彩北地区会  
学習塾



林 俊治  
株式会社塗装工業所  
彩北地区会  
自動車部品の外装、内装の塗装



小澤 隆行  
フルデンシャル生命保険(株)  
川越地区会  
生命保険販売



影山 琢也  
インフォース(株)  
さくら地区会  
広告代理店業



田部井 広明  
米トラベル  
彩北地区会  
旅行業



岡崎 高之  
朝日生命保険相互会社  
熊谷営業所  
さくら地区会  
生命保険販売



西澤 香代子  
居宅介護支援事業所  
しあわせの介護プラン  
川越地区会  
介護サービス事業



加藤 澄矢  
株式会社創栄  
川越地区会  
保険診断、メンテナンス

同友会日誌 11月1日~30日

- 1日(木) 大宮東幹事会、東部幹事会、戸田・蕨幹事会
- 2日(金) 正副代表理事会議
- 5日(月) さくら幹事会、東彩幹事会、埼玉葛幹事会
- 6日(火) 川口幹事会、川越幹事会、西部幹事会、大宮南幹事会
- 7日(水) 北部幹事会、むさし野幹事会、浦和幹事会、中部幹事会
- 8日(木) 経営労働委員会
- 9日(金) 仕事づくり委員会、大宮中央幹事会
- 12日(月) 障害者雇用推進委員会、彩北設立準備会
- 13日(火) 全研実行委員会
- 14日(水) 広報委員会オープン学習会、大宮南例会
- 15日(木) 東部・障害者雇用推進委員会合同例会、戸田・蕨例会
- 16日(金) ファム例会、大宮中央例会
- 17日(土) 経営指針づくりセミナー(発表会)
- 19日(月) 政策プロジェクト会議、東彩例会
- 20日(火) 青年部幹事会、川口・青年部合同例会、社員教育委員会、川越例会
- 21日(水) 共同求人オープン懇談会、浦和例会、西部例会、中部例会、北部例会
- 22日(木) 第3回地区会会長会議
- 26日(月) 彩北設立総会
- 27日(火) 第3回委員長会議
- 28日(水) ファムミーティング、大宮ブロック会議、むさし野例会

～お詫びと訂正～  
『DOYOUさいたま12月号』P8さくら地区会設立20周年記念式の掲載ページに誤りがありました。文中「創業者の妻の」は、「創業者の妹の」でした。訂正してお詫び申し上げます。

会員information

《住所・電話変更》

むさし野地区会 (有)オフィス関口 関口明会員  
〒202-0013 東京都西東京市中町 1-3-38  
TEL : 04-2439-8491

《電話・FAX変更》

大宮東地区会 (株)第一経営相談所 薊喜美雄会員  
TEL : 048-650-0101  
FAX : 048-650-0102

《住所変更》

東部地区会 松永司法書士事務所 松永賢一会員  
〒343-0023 埼玉県越谷市東越谷 6-26-8

東部地区会 山本佳子社会保険労務士事務所 山本佳子会員  
〒343-0023 埼玉県越谷市東越谷 6-26-8

《住所・電話・FAX変更》

東部地区会 (株)浅草製作所 薄井秀秋会員  
〒344-0015 埼玉県春日部市赤沼 1583-2  
TEL : 048-731-1225  
FAX : 048-731-1227

《役職変更》

東部地区会 (株)エフ広芸 藤井毬子会員  
取締役へ

◆ 訃報 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

- 東部地区会 新井博会員が逝去されました。
- 東部地区会 山田クニ会員のご主人様が逝去されました。

会員数

2018年12月18日現在

地区会名	会員数	地区会名	会員数	地区会名	会員数
川 口	46	大 宮 南	88	北 部	38
戸 田・蕨	52	西 部	45	さ くら	85
浦 和	81	むさし野	124	川 越	84
大 宮 東	40	東 部	135	東 彩	52
大宮中央	37	中 部	49	彩 北	16
		埼 葛	59	計	1031

編集後記

同窓会や親戚の結婚式などで、古くからの友人や知り合いに、何年ぶり何十年ぶりにお会いする時があります。

その風貌の変化で、すぐには、どなたかわからない方もいます。一方で素敵に歳を重ねていらっしゃる方もお見受けします。大げさな言い方かもしれませんが、生き様が現れている気がします。

若い頃の美人、イケメンから、人間的魅力あふれるシニアへ！

人生100年時代を迎えた今こそ、そんな高齢者になりたいと思います。それには、健康であること、仕事を離れてもおしゃれをすること、自分を必要とってくれる場所があることが大切かと思えます。(東部地区会 宇野碧留 記)

# 埼玉同友会45年の歴史に新たな1ページを刻んだ 「彩北地区会」の誕生!

加須と羽生の地域を活力あるものにしていこうという志を持った16名の設立メンバーの熱き想いに心打たれた114名の方々がお祝いに駆けつけ、華やかな設立総会となりました!! (P5参照)



私たちの作っている加須の特産品、どうぞ召し上がれ!



お祝いに駆けつけた参加者も熱心に学びます。



人育てへの想いは熱く!



折原会長



兄(右)に続いて弟(左)も入会です。よろしくお祈りします!



設立メンバー、初めてのパチパチ隊。



地元の銘酒を記念講演講師にプレゼント。

地域への期待を込めて、代表理事からの激励。

司会にご挨拶にご活躍の  
実行委員長

代表理事の感動的な  
締めのごあいさつ



和やかに



## 埼玉同友会 広報委員

- |                |                 |                |                |               |                |                 |
|----------------|-----------------|----------------|----------------|---------------|----------------|-----------------|
| ● 委員長<br>藤元天美  | ● 委員<br>川口 高倉光俊 | ● 大宮東<br>安形智昭  | ● むさし野<br>刘田友枝 | ● 北 部<br>さくら  | ● 東 禎章         | ● 制作担当<br>栢达博久  |
| ● 副委員長<br>酒井 啓 | ● 戸田・蕨<br>石井孝徳  | ● 大宮中央<br>柴田大智 | ● 東 部<br>宇野碧留  | ● 川 越<br>小田 明 | ● 東 彩<br>池田惠津子 | ● 印刷・製本<br>加藤早苗 |
| ● 小林吉文         | ● 浦 和<br>三友哲哉   | ● 大宮南<br>鈴木光義  | ● 中 部<br>矢澤敦臣  | ● 東 彩<br>若林清治 | ● 事務局<br>加藤早苗  | ● 事務局<br>古川佳子   |
| ● 鈴木一朗         | ● 大森靖之          | ● 西 部<br>印牧政彦  | ● 埼 葛<br>松本賢二  |               |                |                 |